

安全データシート(SDS)

1 化学品及び会社情報

製品名 : ネオクレツシェIPO
会社情報
会社名 : 千葉製粉株式会社
住所 : 千葉県千葉市美浜区新港 17 番地
電話番号 : 043-241-0111
Fax 番号 : 043-245-1781
緊急連絡先 : 043-241-0111(代)
メールアドレス : kikaku@chiba-seifun.co.jp
推奨用途及び使用上の制限 : 化粧品原料

2 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分外
自然発火性液体 : 区分外

健康に対する有害性

皮膚感作性 : 区分 1

環境に対する有害性 : GHS 区分に該当する項目はない

オゾン層への有害性 : GHS 区分に該当する項目はない

※上記以外の項目は、現時点で「分類対象外」又は「分類できない」である。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

注意書き

[安全対策] : ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること
汚染された作業衣は作業場から出さないこと
保護手袋を着用すること

[応急措置] : 皮膚に付着した場合、多量の水と石けんで洗うこと
皮膚刺激または発しんが生じた場合、医師の診断/手当を受けること
汚染された衣類を脱ぐこと。そして再使用する場合には洗濯をすること

[保管] : なし

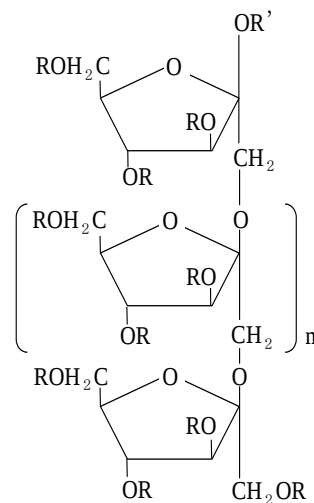
[廃棄] : 内容物/容器を国際、国、都道府県、または市町村の規則に従って廃棄すること

他の危険有害性 : 情報なし

3 組成及び成分情報

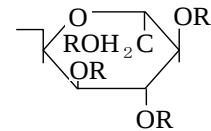
化学物質・混合物の区別 : 化学物質
化学名又は一般名 : 2-ヘキシルデカン酸フルクトオリゴ糖

化学特性(示性式又は構造式)



R :ヘキシルデカノイル基
または水素

R' :



又はヘキシルデカノイル基、
又は水素

n : 重合度

分類に寄与する不純物 :2-ヘキシルデカン酸 0~2.7%

4 応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 医師の診断／手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	: 汚染された衣類をすべて脱ぐこと。汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。 皮膚を多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。
眼に入った場合	: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合、医師の診断／手当てを受けること。
飲み込んだ場合	: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 医師の診断／手当てを受けること。 被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。
最も重要な急性および遅発性症状	: 情報なし
応急措置をする者の保護	: 救護の際に付着物が目や皮膚にばく露しないように、必要に応じて保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項	: 情報なし

5 火災時の措置

適切な消火剤	: 水噴霧、粉末、泡、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	: 棒状注水
特有の危険有害性	: 火災によって刺激性または毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	: 火災発生場所の周辺への関係者以外の立ち入りを禁止する。 移動可能な容器は、速やかに安全な場所へ移動する。 延焼の恐れのないよう水噴霧で周囲の容器、施設等を冷却する。 消火作業は風上から行う。 消火に用いた材料が環境中に放出されないように注意する。
消火を行う者の保護	: 消火活動の際は、適切な保護具(耐熱手袋、保護眼鏡、保護マスク、空気式呼吸器、耐熱保護衣等)を着用すること。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 漏出した場所の周辺には、ロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。 漏出時の処理を行う際には、適切な保護具(第 8 項参照)を着用すること。
-----------------------	--

環境に関する注意事項	と。
	漏出物に触れたり、その中を歩いたりしないこと。
封じ込め及び浄化の方法 及び機材	: 河川、下水道、土壌に排出されないように注意する。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
	: 危険で無ければ漏出を止める。 大量の漏出は防液堤を築く等の適切な封じ込め手段を講じて、広がらないようにすること。防液堤に使用した資材をポンプで吸い上げることが できる場合には、適切な廃棄用容器等に回収する。 少量の漏出はウエスなどでふき取り、適切な廃棄用の容器に回収する。 回収物は「13. 廃棄上の注意」の項の記載に準じて処分する。
二次災害の防止策	: 付近の着火源となるものを速やかに取り除くこと。 着火した場合に備え、消火器などを準備すること。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、適切な保護具を着用すること。 防爆型の機器・設備を使用し、容器を接地するなど、静電気対策をとること。
局所排気・全体換気 安全取扱い注意事項	: 必要な局所排気、全体換気を備えた換気の良い場所で作業を行う。 : 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと 眼、皮膚への接触を避けること。 取扱い後は手や顔をよく洗うこと。
保管	
技術的対策	: 保管場所には取扱いに必要な採光、照明などの設備、および換気の設備を設けること。 保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類は全て接地する。
適切な保管条件	: 火気厳禁。 容器を密閉して、容器を密閉して冷乾所で保管すること。 未開封の状態での保存が望ましい。
混触危険物質 容器包装材料	: 「10. 安定性及び反応性」を参照。 : 製品の包装を使用すること。

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 未設定
許容濃度	
日本産業衛生学会（2016）	: 未設定
設備対策	: 必要に応じて取扱い場所の近くに手洗い、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。 必要な局所排気または全体換気を行うこと。
保護具	
呼吸器保護具	: 適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	: 適切な不浸透性保護手袋を着用すること。
眼の保護具	: 保護眼鏡、ゴーグル型保護眼鏡、保護面等を着用すること

皮膚及び身体の保護具	: 長袖、長ズボンの保護衣、保護エプロン、安全靴等を着用すること。
衛生対策	: 取扱う時に飲食または喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 保護具は定期的に点検すること。

9 物理的及び化学的性質

外観(物理化学的状態、形状、色など)	: 無色～淡黄色の液体
臭い	: わずかに特異な臭いあり
臭いの閾値	: 情報なし
pH	: 情報なし
融点・凝固点	: 情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲	: 情報なし
引火点	: 208℃(クリーブランド開放式)
蒸発速度	: 情報なし
燃焼性	: 情報なし
燃焼範囲の上限・下限	: 情報なし
蒸気圧	: 情報なし
蒸気密度	: 情報なし
比重(密度)	: 情報なし
水溶解性	: 不溶
溶媒溶解性	: キシレン、ベンゼン、クロロホルム
n-オクタノール／水分配係数	: 情報なし
自然発火温度	: 情報なし
分解温度	: 情報なし
粘度	: 情報なし
その他の情報	: 情報なし

10 安定性及び反応性

反応性及び化学的安定性	: 通常の手扱い条件においては安定である。
危険有害反応可能性	: 通常の手扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	: 直射日光、高温へのばく露、火気厳禁。
混触危険物質	: 酸化剤、強酸、強アルカリ
危険有害な分解生成物	: 情報なし

11 有害性情報

急性毒性(経口)	: 情報なし
急性毒性(経皮)	: 情報なし
急性毒性(吸入:気体)	: GHS の定義による液体である
急性毒性(吸入:蒸気)	: 情報なし
急性毒性(吸入:粉じんおよびミスト)	: 情報なし
皮膚腐食性／刺激性	: 被験者数 20 名を対象とした 24 時間閉塞パッチテストの陰性結果のみで分類できないとした。※1
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 情報なし
呼吸器感作性	: 情報なし
皮膚感作性	: 被験者数 50 名を対象とした RIPT(Repeated Insult Patch Test)の結果、皮膚への1次刺激性、累積刺激性及び感作性はないとの結果※2がある

が、不純物として含まれる 2-ヘキシルデカン酸について、原料 SDS によると皮膚感作性区分 1B に分類されているため、2-ヘキシルデカン酸の 0～2.7% の含有量から区分 1 に分類した。	
生殖細胞変異原性	: 情報なし
発がん性	: 情報なし
生殖毒性	: 情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 情報なし
吸引力呼吸器有害性	: 情報なし
その他	: -細菌を用いる復帰突然変異試験(Salmonella typhimurium、Eschericia coli):陰性※3 -In vitro 3T3 NRU 光毒性試験:陰性※4 -3 次元培養皮膚モデル EpiDerm™ SIT (EPI-200) 試験法による皮膚一次刺激性試験代替法試験:無刺激性と判定された※5 -3 次元培養角膜モデル EpiOcular™ EIT (OCL-200) 試験法による眼粘膜刺激性試験代替法試験:無刺激性と判定された※6

※1 千葉製粉株式会社社内資料(「24 時間ヒトパッチテスト」試験結果報告書 試験番号 4170131)による 2-ヘキシルデカン酸フルクトオリゴ糖の情報を記載する。

※2 千葉製粉株式会社社内資料(「2-ヘキシルデカン酸フルクトオリゴ糖」の貼付による RIPT(Repeated Insult Patch Test))の情報を記載する。

※3 千葉製粉株式会社社内資料(2-ヘキシルデカン酸フルクトオリゴ糖の細菌を用いる復帰突然変異試験)の情報を記載する。

※4 千葉製粉株式会社社内資料(2-ヘキシルデカン酸フルクトオリゴ糖の In vitro 3T3 NRU 光毒性試験)の情報を記載する。

※5 千葉製粉株式会社社内資料(3 次元培養皮膚モデル EpiDerm™ SIT (EPI-200) 試験法による皮膚一次刺激性試験代替法試験)によるヘキシルデカン酸フルクトオリゴ糖の情報を記載する。

※6 千葉製粉株式会社社内資料(3 次元培養角膜モデル EpiOcular™ EIT (OCL-200) 試験法による眼粘膜刺激性試験代替法試験)によるヘキシルデカン酸フルクトオリゴ糖の情報を記載する。

12 環境影響情報

水生環境有害性(急性)	: 情報なし
水生環境有害性(慢性)	: 情報なし
オゾン層への有害性	: モントリオール議定書の付属書に列記されている成分を含まない。
他の有害性	: 情報なし

13 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄の際は、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合は、該当する業者に委託して処理を行うこと。
汚染容器および包装	: 容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること

14 輸送上の注意

国際規制	
陸上輸送	: ADR/RID の規定に従う。
海上輸送	: IMO の規定に従う。

航空輸送	: ICAO /IATA の規定に従う。
国連番号	: 非該当
国連分類	: 非該当
国内規制	
陸上規制情報	: 消防法に従う。
海上規制情報	: 船舶安全法に従う。
航空規制情報	: 航空法に従う。
輸送時の特定の安全対策 および条件	: 輸送に際しては、容器の破損のないことを確かめる。 落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。 直射日光及び高温下での輸送は避ける。
緊急対応時指針番号	: —

15 適用法令

労働安全衛生法	: 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法	: 非該当
消防法	: 危険物第 4 類第 4 石油類 危険等級Ⅲ
航空法	: 非危険物
船舶安全法	: 非危険物

16 その他の情報

参考文献:

- 1) Globally Harmonized System of classification and labeling of chemicals, (4th., 2011), UN
- 2) JIS Z 7252:2014 および JIS Z 7253:2012
- 3) NITE CHRIP (<http://www.safe.nite.go.jp/japan/sougou/view/SystemTop.jp.faces>)
- 4) 原料 SDS
- 5) 事業者向け GHS 分類ガイダンス(平成 25 年度改訂版(Ver.1.1)), 平成 27 年 3 月, 経済産業省

【注意】

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
本製品は、この安全データシートをご参照の上、使用者の責任において取り扱って下さい。
また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。